

第7回牧之原市学校再編計画策定委員会 次第

日時：令和2年11月12日（木）午後1時30分～
場所：相良庁舎4階大会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 事

○ 市民意見交換会を踏まえて

○ 学校再編計画の素案に記載する内容について

4 市長あいさつ

5 連絡事項

6 閉 会

学校再編計画策定委員会 市民意見交換会実施状況について

(教育文化部教育総務課)

1 趣旨

計画の素案づくりに入る前に、これまで検討してきた再編の考え方を示して市民意見を聴くために実施した市民意見交換会について報告する。(すべての意見は別紙参照のこと。)

2 実施状況等

意見交換会の参加人数は全体で565人、いただいた意見や質問は723件、参加者と傍聴者からいただいたアンケートは373件であった。

情報提供やグループワーク、質疑応答等を通して、「なぜこの検討をしているのか」、「なぜこの案になったのか」、「これからどうしていくのか」等について理解してもらうとともに、それを踏まえてさまざまなご意見をいただくことができた。

【実施状況】

	学校区	開催日	参加者(人)				意見・質問数	アンケート数
			参加者	傍聴者	策定委員・事務局等	合計		
1	細江	10月7日 水	35	6	16	57	125	38
2	地頭方	10月16日 金	22	22	16	60	54	37
3	牧之原	10月19日 月	32	21	15	68	84	47
4	萩間	10月20日 火	24	12	14	50	69	33
5	相良	10月22日 木	39	43	18	100	98	64
6	川崎	10月26日 月	49	8	18	75	112	52
7	菅山	10月27日 火	24	4	15	43	67	28
8	坂部	10月29日 木	27	21	14	62	63	42
9	勝間田	10月30日 金	25	10	15	50	51	32
合計			277	147	141	565	723	373

裏面有

3 意見の傾向

- 旧相良・旧榛原に1校ずつ、計2校の小中一貫校を建設する案について
 - 校数については、策定委員会が示した2校案に賛成の意見が多かった。参加者が書いた意見を見ると、298件中212件が2校案に賛成であった。理由としては、人口減少や施設老朽化の現状、クラス替えができ、多様な人と触れ合えるようにしたいという子どもの学ぶ環境、通学距離、予算等があげられている。
 - 1校案を推す意見は5件、3校を残す意見は30件、3校以上の案は8件だった。地域として見ると、牧之原小・中学校については、地域を分断される心配から、既存のまま残したいという意見が多かった。

- 場所について
 - 津波を心配してより高台の立地を望む声と、通学を心配して高低差があまりないことを望む声の両方がある。
 - 榛原中学校周辺について洪水を心配する声があった。

- 通学方法について
 - 通学方法については、具体的な距離や手段への質問が多かった。
 - スクールバスを運行する場合の費用負担についての心配も多くあった。

- 予算・スケジュールについて
 - 建設費用が工面できるのかという心配の声があった。また、2030年の開校については、時期が早い・遅いの両意見があった。

- その他
 - 人口増加対策を求める声が多かった。
 - 意見交換会自体については、参加してよかった、やり方がよかった、との声をいただいた。

学校再編計画の素案に記載する内容（案）

1 趣旨

これまで学校再編計画策定委員会で協議してきた内容を「計画素案」としてまとめていくにあたり、記載する事項を確認する。

2 項目と載せる内容

項目	載せる内容
1 学校再編計画の目的	「望ましい教育環境のあり方に関する方針」の施設環境部分を実現するための具体的な計画であること等を書きます。
2 市内小中学校の現状について	牧之原市の人口や児童生徒数の推移・推計、学校数と規模の現状、学校の現状（教育・施設）等についてのデータを載せます。
3 学校再編の基本方針	目指す教育環境と学校規模の考え方等計画の基本的な考え方を載せます。
4 学校再編の基本計画	学校区、場所、施設の機能（複合化含）、通学方法等についての考え方を載せます。
5 学校再編の整備の推進	2030年の開校を目指し、これからの必要な検討や計画、整備に係るスケジュール等について記載します。（既存施設の利活用はここに含みます。）
6 資料編	学校再編計画策定委員会への諮問文、学校再編計画策定委員会条例、審議経過等を載せます。

※ 付託事項をつけることができます。